

在庫を、データで最適化する。

ベテランの勘を、数字で裏づける —— DynaxTMedical AI定数ガイドシステム「みはり」

病院で管理する在庫の基準＝「定数」は数千以上。
人の手だけで最適に保つのは、現実には困難です。

1

物流データの解析と分類、定数計算はAIにまかせる。

頭脳

払出～入荷の動きから、物品を自動でグループ分け。

2

定数見直しを数日から数分へ。安全在庫を保ち、在庫を圧縮。

効率

デモ試算で在庫金額を26.8%(約1,900万円)削減。

3

自動で再計算し、担当が変わっても定数がぶれない。

継続

属人的な“勘”に頼らず、同じ品質がずっと続く。

コストカットの効果(デモデータでの試算例)

約7,000万円

→ 約5,200万円

在庫金額

(調整前 → 調整後)

約1,900万円

の節約

削減できた

在庫金額

26.8%

削減

在庫金額の

削減率

まずは30分のオンライン説明会から。

今の定数をデータで最適化するイメージを、
実際の画面でご説明します。

TEL 087-887-8881

medical-all@dynaxt.co.jp

<https://dynaxt.co.jp>

使い方は、分類 → 可視化 → 再計算 の3ステップ

ログインすると、分析から最適化までの機能が、一つの画面に揃います。

STEP 1

消費データをAIが解析・分類

払出・請求・発注・消費・入荷という5つの動きから物品の特徴をとらえ、「高頻度」「中頻度」「低頻度」へ自動でグループ分け。分類はワンクリック、数分で完了します。

※分類の数は一例です。導入時に、病院の運用に合わせて調整できます。

STEP 2

グラフで確認 / 定数の修正・固定

物品ごとの動きをグラフで確認。さらに全物品を三次元にマッピングし、特殊な動きの物品がひと目で浮かび上がります。最適化が難しい物品も見逃しません。

STEP 3

定数を再計算

グループごとに最適な計算式を割り当て、定数を一括で再計算。どの物品を、どれだけ減らせるか。根拠とともに、ひと目で分かります。

在庫金額の試算(デモデータでシステムが算出した例)

調整前 ¥71,171,900 → 調整後 ¥52,092,700

節約額 ¥19,079,200(26.8% 削減)

安心して使えるしくみ



在庫切れの可能性を限りなく減らす

過去データをもとに、安全在庫が保たれるような定数を算出します。



最終判断は、人が行う

システムは最適な候補を示すだけ。担当者が納得して決められます。



院内で完結(インターネット不要)

病院の物流データは、一切外部に出ません。